

松島庄汰さんに直撃！ タイのTVドラマ『きもの秘伝』撮影秘話！

2015.04.15

👍 138 ツイート 1
 いいね！ G+

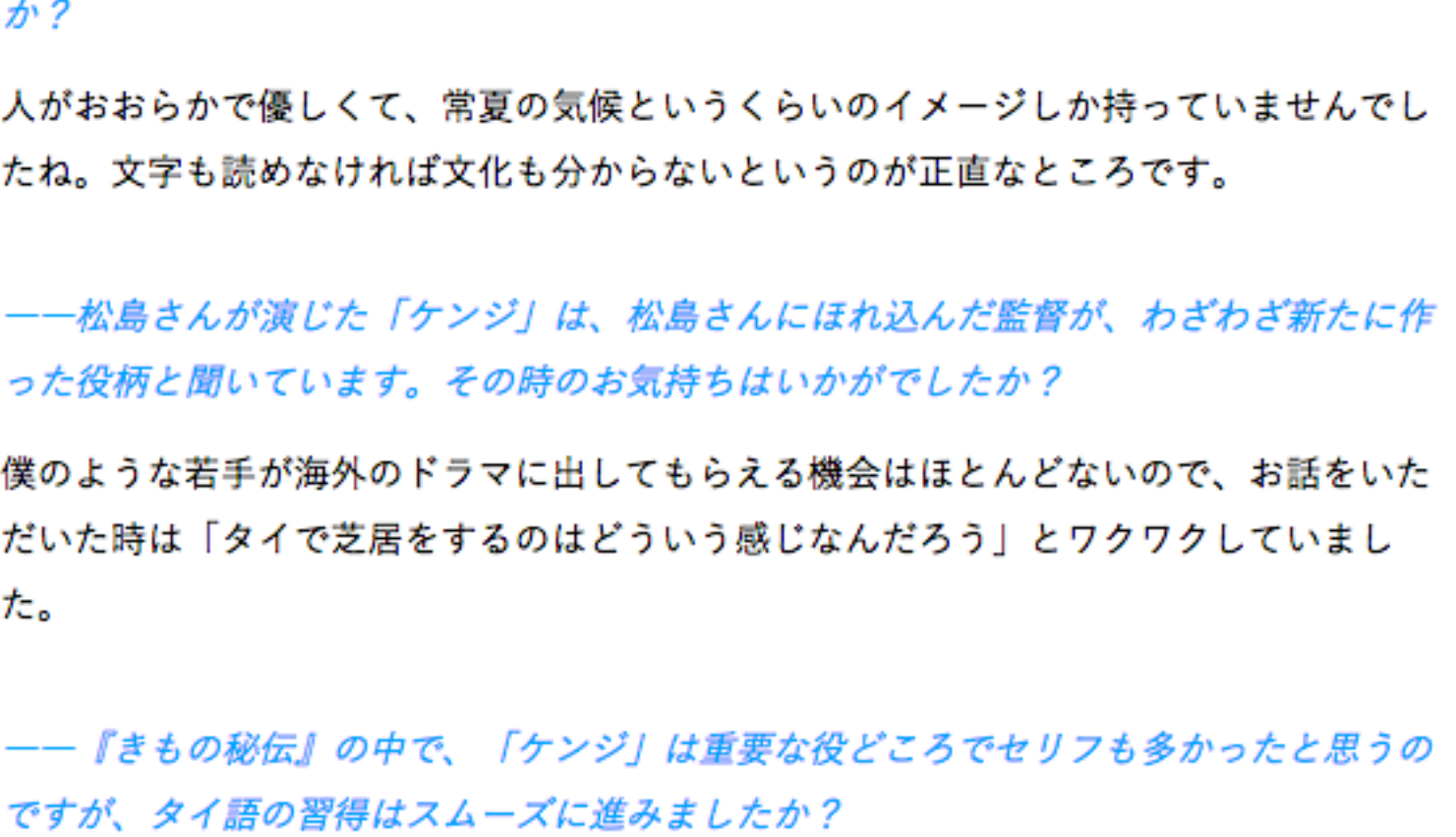


タイ人はドラマが大好き。人気ドラマが放映される時間帯は街から人が消え、渋滞も緩和されるほどです。

そんなタイで公開前から大きな関心を集めているのが、タイで日本を舞台としたドラマ『きもの秘伝（ゴン・キモノ）』。タイ最大の放送局が制作する本作『きもの秘伝』は、「国王の次に影響力がある」と言われる国民的大スターのバード・トンチャイチンが17年ぶりに出演するドラマで、舞台の約8割が日本です（すでにファンの人たちの九州のロケ地めぐりツアーが敢行されているとか！）。国際交流基金アジアセンターも、タイによりリアルな日本文化を伝え、日タイ交流を進めるため、日本人俳優の出演、着物の着付けや琴の専門家派遣などのサポートをしています。

そんな注目ドラマに、唯一の日本人キャストとして出演するのが、若手俳優の松島庄汰さんです。松島さんが演じる「ケンジ」は、ヒロインの元カレでストーリーの重要なカギを握る役どころ。タイでのロケにも参加した松島さんに、『きもの秘伝』撮影エピソードやタイのドラマの特徴、現地で感じたことを聞いてきました！

日本語をタイなまりに直されました（笑）



—まずは、『きもの秘伝』のストーリーを簡単に教えていただけますか？

「伝説の未完成の着物」をめくり二つの名家が対立する、『ロミオとジュリエット』と『七夕』を掛け合わせたラブファンタジーです。日本を舞台にタイ人が日本人を演じるドラマで、九州の美しい景色や着物、作法など、日本的な要素がたくさん出てきます。

—『きもの秘伝』への出演が決まる前、タイにはどのような印象を持っていましたか？

人がおおらかで優しく、常夏の気候というくらいのイメージしか持っていませんでした。文字も読めなければ文化も分からないというのが正直なところでした。

—松島さんが演じた「ケンジ」は、松島さんにほれ込んだ監督が、わざわざ新たに作った役柄と聞いています。その時のお気持ちはいかがでしたか？

僕のような若手が海外のドラマに出してもらえる機会はほとんどないので、お話をいただいた時は「タイで芝居をするのはどういう感じなんだろう」とワクワクしていました。

—『きもの秘伝』の中で、「ケンジ」は重要な役どころでセリフも多かったと思うのですが、タイ語の習得はスムーズに進みましたか？

いえ、やっぱり、そこに一番苦戦しましたね。「タイに来た日本人留学生」の役ならタイ語のイントネーションがおかしくても許されると思うんですが、タイ人が日本人を演じるという斬新な設定だったので、本物の日本人が片言でタイ語を話すわけにはいかない（笑）。言葉の揺れが許されないというのは、非常に怖かったです。

タイ語は撮影の1カ月前から週に1回、タイ人の先生に指導してもらいました。レッスンがない日も、僕のタイ語を録音してチェックしてもらったりしました。タイ語の発音は、やや鼻声というか、濁るっていうんですね。言葉の始めに「ng」がつくような感じ。日本語で「アキラ」と言う時でも、タイなまりに合わせてなきやいけません。先生にまさか日本語を直されるとは思いませんでした（笑）。

それでも心配だったので、タイの撮影で現地のホテルに滞在した時には、僕が話すセリフが通じるかどうか、ホテルの従業員に相手にしてもらいました。10人くらいには、話し掛けたんかな。見ず知らずの外国人が突然話し掛けてきたら、日本人だったら「え？」って思うじゃないですか。でもタイの人は普通に気さくに返してくれて、いいところだなぁって感じました。

タイトレンドは濃いメイク&太眉！



—日本のドラマ撮影との違いを感じることはありましたか？

大きく違っていたのは、撮り方ですね。日本だと1台のカメラで、シーンごとに細かくカットして撮ることが多いですが、タイでは4台のカメラで色んな角度から演者を狙って、長くカメラを回します。長時間集中しなければいけないし、芝居力が求められると強く感じました。

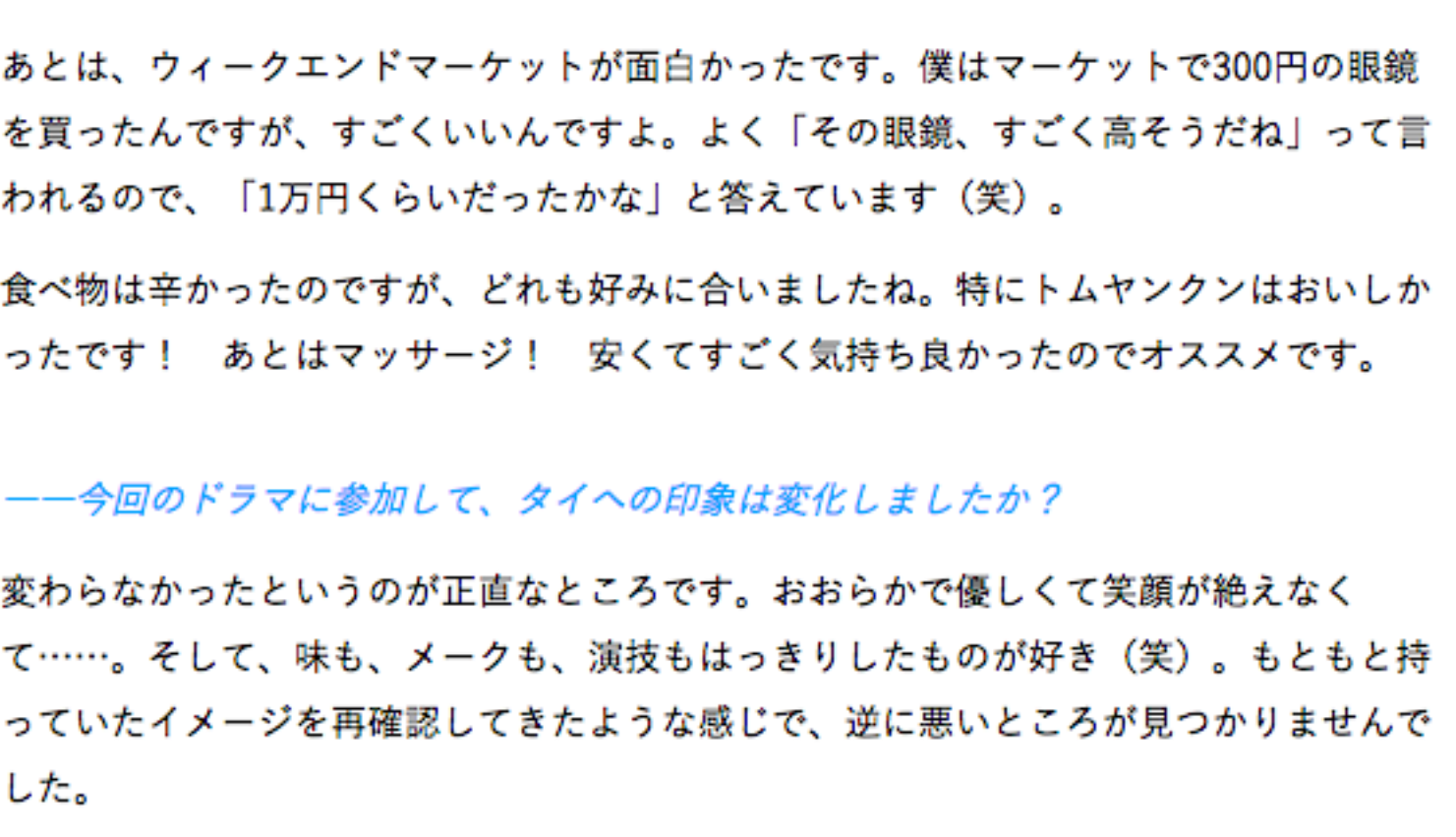
あとはメイクが濃い！ メイクにかかる時間も2倍くらいだったし、眉毛の太さも2倍にされました（笑）。髪型も、プロデューサーは「好きにしていよ」って言ってくれましたが、タイの文化に倣おうと思って、他の人と同じように、横分けてピタッと流すヘアスタイルにしました。

本番前のリハーサルをあまりしないことも日本とは大きく違いましたね。しかも、いつの間にか撮影が始まるので、いきなり演技に入れるタイの役者はすごいなって思いました。

—共演者は全てタイ人という状況で撮影されたわけですが、共演者とのエピソードを教えてくださいませんか？

僕は、唯一の日本人キャストだったので、ものすごくプレッシャーを抱えながら撮影に臨んだんですが、みなさん気さくに話し掛けてくれて、とてもありがたかったです。主役のバードさんは、日本で言うところの高倉健さんと郷ひろみさんを合わせたくらいの国民的スターで、「国王の次に影響力がある」とまで言われています。放つオーラも、ものすごい！ そんなすごい方なのに、とても優しく、タイの芝居の仕方などいろいろなことを教えてくださいました。タイの演技のタイミングが日本と違っていい上に、リハーサルも少なくて苦労していたので、非常に助かりました。

デフォルメされた日本から、日本の良さをあらためて感じた



—今回のドラマでは、『きもの秘伝』というタイトルの通り、着物での撮影シーンが多かったと聞いています。主人公の設定も日本人ということで、タイ人が演じた日本人を見て感じたことはありましたか？

ドラマの撮影を通して、日本の良さを再確認できました。一番はお辞儀の作法です。タイの人が、日本で言うお辞儀をするのを見て、すごくきれいだって感じました。神社の参拝のバードさんは、わざわざの儀儀もとても素敵なんです。『きもの秘伝』が放送されたら、タイの人はきっと日本を好きになってくださると思います。

タイ人は、おおらかで、優しく、笑顔が絶えず、そしてはっきりしたものが好き！

—タイでのロケにも参加されたとのことですが、滞在中のエピソードを教えてください。

僕はバンコクとカンチャナブリーのロケに参加しました。タイってヤモリがすごく多いんです。ホテルの部屋のドアにヤモリが5、6匹くっついてた時は怖くて1人で部屋に入らずに、ホテルの人と一緒に入りました（笑）。あとは、お風呂の蛇口をひねったら黒い水がドバッと出てきた時は相当驚きました。ホテルは広くてきれいだっただけで、余計にギャップが衝撃的でした。

街を歩いていて、タイの人に片言の日本語で話し掛けられた時はびっくりしました。僕が出演している仮面ライダーがタイでも放送されていて、僕を知ってくれていたみたいなんです。思いがけないことだったので、すごくうれしかったです！

—撮影ということで、観光する時間があまりなかったと思いますが、タイでのオススメの場所があれば教えてください。



撮影で行ったカンチャナブリーの雰囲気はとても好きでした。『戦場にかける橋』（映画）で有名なクワイ橋があるところです。僕は田舎が好きで日本でもよくあちこち行くんですけど、ここは手つかずの自然がそのまま残っていて、自然が町に溶け込んでいて、非常に居心地が良かったです。日本で言う川床みたいなところで食べたごはんも、すごく良かったですね。

あとは、ウィークエンドマーケットが面白かったです。僕はマーケットで300円の眼鏡を買ったんですが、すごくいいんです。よく「その眼鏡、すごく高そうだね」って言われるので、「1万円くらいだったかな」と答えています（笑）。

食べ物は辛かったのですが、どれも好みに合いましたね。特にトムヤンクンはおいしかったです！ あとはマッサージ！ 安くてすごく気持ち良かったのでオススメです。

—今回のドラマに参加して、タイへの印象は変化しましたか？

変わらなかったというのが正直なところ。おおらかで優しく笑顔が絶えずで……。そして、味も、メイクも、演技もはっきりしたものが好き（笑）。もともと持っていたイメージを再確認してきたような感じで、逆に悪いところが見つかりませんでした。

タイって、学校の授業では発展途上国と習うじゃないですか。でも実際に行ってみると、「先進国に劣っている」というイメージはなくて、文化も進んでいるし、芸術的にも素晴らしいものがたくさんあるんです。これから成長していく国なんだという感じが、ひしひしと伝わってきました。

またタイへ行きたい！

—今度タイに行ったら、どんなことをしたいですか？

とりあえず街なかをめぐりたいですね。今回は屋台に行けなかったんで、屋台に行って現地の人が食べているごはんを食べて、現地の日常的な生活してみたいです。

—またアジアの国からのオファーが来たら、どうしますか？

僕はアジアにどんどん出ていきたい。むしろ出ていかないといけないと思っています。英語ができないと交流ができないとわかったので、まずは英語の勉強から始めています。タイでの撮影に入る前には中国のドラマにも出ていたので、並行して中国語とタイ語も続けていきたいです。TwitterやInstagramでも、簡単な中国語やタイ語を添えるようにしていますよ。いただいたコメントを閲覧するのに大変だったりしますが（笑）。せっかくなので、なるべくの縁を大事にして、もっとつながってほしいです。

今回は松島庄汰さんに、タイでの『きもの秘伝』撮影秘話をお聞きしました。松島さんから見たタイ——優しくおおらかで、笑顔が絶えず、はっきりしたものが好きで、ヤモリが多くて、手つかずの自然が残る国。

「タイ人が思い描く日本人を演じながら、日本の良さを再確認できた」というエピソードには、はっとさせられます。このドラマが、日本の文化や景色、日本人を身近に感じてもらうきっかけになることを期待したいですね。

「このドラマの人間関係は、けっこう複雑でドロドロしているんですよ」と帰り際に松島さんが笑顔で語ってくれました。……『きもの秘伝』、気になります！

番組公開情報

番組名称	きもの秘伝
放送媒体	Channel 3 HD (Variety Channel)
放送開始	2015年4月16日(木曜日)
放送時間	毎週水・木曜日 20:15~22:15
放送話数	24話(1日2話)
URL	https://www.facebook.com/kolkimonoevent?ref=ts http://www.broadcastthai.com/kokimono/

👍 138 ツイート 1
 いいね！ G+